

会 議 録

会 議 名	令和6年度第2回山形市動物愛護推進協議会
開催日時	令和7年2月17日（火）午後1時30分～午後3時30分
開催場所	山形市動物愛護センター 多目的ルーム
出 席 者	協議会委員 7名（別紙次第参照） 【事務局】 奥山健康医療部長、桜井センター長、佐竹主幹、笹原主査獣医師、 根市主査獣医師、小木曾主任、阿部獣医師
傍聴者の数	0人
議 題	1 報告事項 (1) 令和6年度事業について (2) 山形市における飼い主のいない猫の苦情件数と行政施策の効果について 2 協議事項 (1) （仮称）わんにゃんポートサポーター制度について（素案） 3 その他
資 料	別添参照

会議経過

1 開会

2 あいさつ（健康医療部長）

3 報告事項

(1) 令和6年度事業について

事務局が資料1に基づき説明。以下、質疑応答。

委 員

「7畜犬登録台帳等の整理」の「(1)所在不明犬の確認」について、調査結果で「①犬又は犬の所有者の所在が不明」とあるが、これは山形市内にいないという理解でよいのか。市民課を通して引っ越し先の住所を調べることも可能かと思うが。

事務局

市民課に依頼し、住民基本台帳で調査を行った。その結果、登録されている住所と一致しなかった所有者については削除した。

委 員

「5地域猫活動団体等支援事業」は広報で十分な周知を行っていたか。

事務局

今年度は予算の都合上、全ての申請者に対応できなかったため、直近で猫の不妊・去勢手術費補助金を活用し、地域猫活動を行っている町内会を中心に広報を実施した。

議 長

令和7年1月末時点での申請状況の4件に対して、物品の支給は行ったのか。また、令和7年度は6団体に対し支給できる予算と記載されているが、申請を受け付けられる件数は大幅に増えないと考えてよいか。

事務局

4件すべてに対し支給済みである。また、6団体についても既に決まっているわけではなく、それぞれ6頭以上の管理に必要な量を支給する想定で予算要求したものであり、5頭以下の申請があれば、6団体以上にも支給は可能である。

委 員

来年度も、今年度申請した4団体は申請可能か。

事務局

申請があれば除外することではなく、現状に合った頭数分で支給する。

議 長

猫の不妊・去勢手術費補助金を活用した町内会が、物品の支給を受けている状況から、補助金を活用し手術を行い、その後地域猫活動を実施する流れが定着しつつあると考えてよいか。

事務局

そのような流れを想定して「地域猫活動団体等支援事業」を開始しており、そのような傾向が見られる。委員の皆様にも周知のご協力をお願いしたい。

委 員

町内会の意識も変わってきていると感じる。猫を捕獲して、不妊・去勢手術を行うことは、地域猫活動の始まりに過ぎず、その後、その猫たちと共に環境美化をどのように進めるかが重要である。継続的な取り組みが必要であり、動物愛護センターにも引き続き見守っていただきたい。

また、町内会も単に餌やトイレ材がもらえらると思わず、支給を受けるためにふさわしい活動を行うことが重要である。

委 員

ガバメントクラウドファンディングの寄附金額は今後減少する可能性があるため、財源確保のための他の方法も検討していく必要がある。

議 長

最近では県内24市町村でガバメントクラウドファンディングを実施している。他市町村との取り合いになっている現状があるため、寄附を集めることが難しくなっていると考えられる。

委 員

病院やペットショップにチラシを配布して周知するのも有効ではないか。

事務局

そのような方法でも周知していきたい。

委 員

猫の不妊・去勢手術費補助金の予算は何頭分を想定しているのか。

事務局

不妊手術（メス）が160頭×10,000円で160万円、去勢手術（オス）が80頭×5,000円で40万円、合計200万円で予算要求を行っている。しかし、実態としては、申請が予算を上回り、不足分については補正予算で対応している。

委 員

譲渡前講習会などで「猫は完全室内飼いをしましょう」と説明をした方がよい。

事務局

譲渡前講習会でそのような説明を行っているが、なおセンターの猫を譲渡する際にも改めてお願いをしたいと思う。

委 員

室内飼いの猫の方が長生きするので、そのことも併せて説明すると説得力が増すと思う。

委 員

町内会の総会などでも周知してもらうようお願いした方がよい。

議 長

「7 畜犬登録台帳等の整理」の「(1)所在不明犬の確認」の「⑥狂犬病予防注射を接種していた」のケースの要因は、ハガキの郵送時期などのタイムラグによるものか。

事務局

何らかの理由でハガキはセンターに返送となり、犬の所有者に届いていない状態であった。しかし、清住町の「ペットショップ Coo&RIKU」ではハガキがなくても注射が可能であり、注射済証を受け取った後にセンターで注射済票の交付を受ける必要がある。しかし、それが行われていなかったため、センターでは把握できていなかった。

委 員

山形市には「おくやみ窓口」があるため、そのようなところと連携すれば所在不明犬の件数を減らせるのではないか。

事務局

検討していきたい。

- (2) 山形市における飼い主のいない猫の苦情件数と行政施策の効果について
事務局が資料2に基づき説明。以下、質疑応答。

議 長

「中心市街地」とはどのエリアを指すのか。

事務局

旧市街地のエリアである。

委 員

町内会と協力して手術を進めた地域で、30 頭もいたさくら耳の猫が急に 10 頭近く減ったことがある。原因を調べると、山形市外から来た人が連れて行ったと聞いたことがあり、不安を感じる。

委 員

市内には多くの町内会があるが、猫の苦情が入っている町内会は少ないと感じる。地域によって偏りがあるため、5月の町内会長の会合で話をしたいと思う。

議 長

猫の苦情は 10 年以上前から続いている。エサやりが猫にエサをやることにより猫の繁殖を促し、1、2 頭だった猫が 20 頭近くに増えると苦情も増加する。この問題はエサやりの方だけを責めても解決にはつながらないため、地域全体で解決策を考える必要がある。

委 員

犬や猫の問題としてだけでなく、人を含めた住みやすいまちづくりの視点で取り組むべきである。

4 協議事項

(1) (仮称) わんにゃんポートサポーター制度について(素案)

事務局が資料 3 に基づき説明。以下、質疑応答。

委 員

対象者について、山形市内に住所がなくてもよいのではないか。動物愛護センターの立地を考慮すると、中山町の方が近い場合もある。

また、活動時間なども定める必要があると考える。

委 員

「事故に対する保障は一切行わない」の部分は修正すべきではないか。犬に咬まれた場合など、大けがにつながる可能性がある。

委 員

生まれたばかりの子猫にミルクをあげながら慣らすのは、非常に難しいと思う。

委 員

研修などの予定はあるのか。

事務局

研修も実施する予定である。

委 員

私たちの預りボランティア3人が応募することは可能か。

事務局

可能とする予定である。

事務局

職員ではない方をお願いする制度となるため、さまざまなケースが想定される。それに伴い、市の責任として、費用負担や保障のあり方についても整理する必要がある。今後、職員課等と相談しながら精査していきたい。

今後、委員の皆様のご意見を伺いながら内容を整理していきたいので、引き続きよろしく申し上げます。

議 長

既に制度として「山形市動物愛護推進員設置要綱」があるため、これとの関連性を整理する必要がある。

また、過去にミルクボランティアを実施したことがあると思うが、その際の課題や問題点を振り返りながら、より良い制度となるよう内容を整理していただきたい。

委 員

私も講習会等で説明が必要な場合は対応できるので、気軽に相談してほしい。

5 その他

なし。

6 閉会